T84

300354

□要

□明

□のラインは、隣接する細胞間にタイトジャンクション、デスモソームを示す。細胞は高密度（少なくとも1/4コンフルエント）に維持する必要がある。

ティッシュ	コロン
病気	癌腫
転移部位	肺

用途

大腸がんの研究；腸上皮生物学；タイトジャンクションおよびバリア機能の研究；結腸の物質輸送生理学；嚢胞性線維症膜貫通伝導度調節因子（ CFTR）の研究；薬物の吸収と代謝；異種移植モデル

同義語

- T-84
- T 84

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
GMOの有無	非遺伝子組み換え

GMOのステータスに関する詳細

No genetic modification; wildtype colon carcinoma cell line (KRAS G13D heterozygous mutation is an endogenous somatic change, not a genetic engineering modification)

バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
細胞の種類	上皮細胞
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで

核型

幹線のモダール染色体数は56本で、28%に見られ、倍数体は12.4%であった。18のマーカーはほとんどのメタフェースに共通している。正常 X染色体と13番染色体は認められず、2番、4番、22番は単一コピー、12番は4コピー。DMは50%近くの細胞にみられた。

倍増時間	約48~72時間

識別子

引用

T84 (Cytion カタログ番号 300354)

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0555

発現と感受性

発現している受容体

ペプチドホルモン、神経伝達物質

抗原発現

ケラチン＋（免疫ペルオキシダーゼ染色）

アイソザイム

G6PD，B，PGM1，1，PGM3，1，ES-D，1，Me-2，1-2，AK-1，1，GLO-1，1-2

変異プロファイル

T84細胞はコドン13にヘテロ接合性のKras変異を持つ：GGC(Wt Gly) >GAC(Asp)

製品

カルサイノエンブリオニック抗原（CEA）、10日あたり10exp6細胞あたり600ng/ml、ケラチン

取り扱いと飼育

培地

Ham's F12，w：1.0mM安定グルタミン、w：1.0mMピルビン酸ナトリウム、w：1.1g/L NaHCO3（Cytion article number 820600a）

培養雰囲気	37°C，5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml，T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml，T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

分割比率	1~3
播種密度	1~2 × 10^4 細胞/cm^2（タイトジャンクションの表現型を維持するため、コンフルエンシーを最低でも 1/4 に保つこと）
流体の更新	週2回
解凍後の回復	解凍後、細胞を5 × 10^4 細胞/cm^2の密度で播種し、少なくとも24~48時間かけて接着させる。タイトジャンクションの形成を維持するため、細胞を高密度（コンフルエンシー 25%以上）に保つ。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがない □とを確認するため、細胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	72年
民族	民族・人種が不明

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守する □とが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。□れは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能である □とを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合している□とを保証します。
詳細については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB